

項目	内容
名称	ピジウム、ピゲウム、ピジューム、アフリカンプラム [英]Pygeum、African Plum、Red Stinkwood、African Cherry [学名]Prunus africana、Prunus africanum、Pygeum africanum
概要	ピジウムは、南～中央アフリカ原産の常緑高木で、高さ30～35 mになる。長楕円形の葉と、白色の花、赤い実をもち、樹皮を使用する。
法規・制度	<b>■ 食薬区分</b> 「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ステロール、トリテルペン、長鎖のアルコール、タンニン、脂肪酸を含む (33) ( <a href="#">PMID:6617830</a> )。 ・N-ブチルベンゼンスルホンアミド (BBSA) を含む ( <a href="#">PMID:19771394</a> )。
分析法	・樹皮の脂肪酸をガスクロマトグラフィーで分析した報告がある ( <a href="#">PMID:19281408</a> )。
有効性	
ヒトの循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。

評価	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	<b>メタ分析</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2000年までを対象に4つのデータベースで検索できた無作為化比較試験18報について検討したメタ分析において、良性前立腺肥大患者によるピジウムの摂取は泌尿器系症状や夜間頻尿の改善と関連が認められたが、研究の質が低く、さらなる検討が必要である (<a href="#">PMID:11099686</a>)。</li> <li>・1997年までを対象に4つのデータベースで検索できた無作為化比較試験17報について検討したシステマティックレビューにおいて、良性前立腺肥大患者によるピジウムの摂取は夜間頻尿の減少に有効な可能性があるが、より質の高い研究が必要である (<a href="#">PMID:11276294</a>)。</li> </ul>
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS). (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (75) エビデンスに基づくハーブ&サプリメント事典 南江堂 ( <a href="#">PMID:19771394</a> ) Invest New Drugs. 2010 Dec;28(6):729-43. ( <a href="#">PMID:6617830</a> ) Farmaco Prat. 1983 Jul;38(7):287-92. ( <a href="#">PMID:19281408</a> ) J Med Food. 1999;2(1):21-7. ( <a href="#">PMID:11276294</a> ) Public Health Nutr. 2000 Dec;3(4A):459-72. ( <a href="#">PMID:11099686</a> ) Am J Med. 2000 Dec 1;109(8):654-64. ( <a href="#">PMID:12164269</a> ) Phytother Res. 2002 May;16(3):244-7.	